

不知火ファイターズの皆さん、応援しています！



全九州小学生ティーンボール大会 全国大会出場おめでとう！

このほど行われた大会で不知火ファイターズジュニア（4年生以下）が優勝し、8月3日に埼玉県の新武ドームで行われる全国大会に出場することになりました。同チームは小学2～6年生、45人のクラブチームで、毎週火・水・木・土・日に主に不知火グラウンドで練習しています。

皆さんの応援をよろしくお願いします。

※ティーンボールは野球に似た競技で、ピッチャーが球を投げる代わりに、高さが調節できるバッティングティーンにボールを置いて競技します。

小川町阿蘇神社夏祭り造り物大会 ランプリは寺町

7月15日、小川町商店街一帯でありました。同商店街の7地区や各種団体の自慢の力作、計15基が展示。サッカーワールドカップドイツ大会に出場した地元出身の巻誠一郎選手の作品もあり、祭りを盛り上げました。

この日、歩行者天国となった商店街は、商工会女性部による小川名産「白玉冷やしダango」の無料サービスや小川フォトクラブ会員による「浴衣姿」の無料写真撮影会などがあり、お祭り広場ではカラオケ大会やハワイアンショー、アームレスリング選手権も行われました。



グランプリ（市長賞）を受賞した寺町の「昔の夕涼みの風景」

デリバリーうき

『少年の主張』で発表した5人



磨こう！親の力と子の力

6月24日、ウイングまつばせ文化ホールで開催されました。研修大会では熊日新聞社の越地真一郎NIE推進室長が「ビッグロックをつかめ～磨こう親力、自分力」と題して講演。「親力と自分力を磨きながら地域力につなげていくとともに、子どもに対しては、最も基本的なことで応用・発展的なことを教える順序を間違えないことが大切」と語りました。

『少年の主張』大会では、犬童千景さん（三角中）、寺本有花さん（不知火中）、湊上和紗さん（小川中）、高木彩加さん（松橋中）、杉本亜弥さん（豊野中）の5人が発表。中国研修旅行を通して感じたことや、世界に思うこと、祖母への思いなどを主張しました。



みんなで学ぼう

ぶんけん

生涯学習課
人権教育係

☎33-1240
(内線332)

青空高校の評判

わたしは中学3年生。夏休みも終わり、そろそろ進路を決めなくてはいけない。「青空高校にどうしても行きたいのなら、もう少し頑張れよ」三者面談の時の先生の言葉が耳に残っている。

あれはお盆で親せきの家に行った時だった。話題が高校の事になった。「あそこの子は若葉高校、あの子は青空高校…」「青空高校はあんまり評判が良くないね」「どうりでちょっと違うね」わたしはそばで聞いていて、自分の将来のことを考えると、青空高校が一番合っている。そのために今、頑張っている。でも大人たちは、「青空高校は…」と言う。どうしてだろうか。

この中学生は、進路選択の時期になり、自分なりの選択をしようとしています。もしかしたら、将来

どう生きていきたいかということまで、考えているのかもしれない。さて、この中学生をどう元気付けていけばいいでしょうか。さまざまな意見が出ていいと思います。それぞれの家庭で話題にしてはどうでしょうか。

第33回宇城地区人権教育研究大会

部落差別をはじめあらゆる差別の解消を目指し、論議を深めていくための大会です。入場は無料で、どなたでも参加できます。

期日 8月19日（土）

○全体会…午前9時30分～正午

（ウイングまつばせ）

江嶋修作氏による講演「動いてなんぼ」

○分科会…午後1時30分～4時15分

（ウイングまつばせ、宇城市松橋町・豊野町、富合町、城南町）

ビデオの内容について討論する参加者たち



ミニ教育懇談会 地域全体で青少年の健全教育を

宇城市青少年育成市民会議松橋地区民会議家庭部会の主催で、6月23日から7月11日にかけて、松橋町の12会場で開催。小中学校のPTA会員や教師などが参加しました。

宇城警察署職員による講話の後、ビデオ「親子で育む『素晴らしい思春期』」を視聴。家庭教育などについて熱心に討論しました。加々山弘子部会長は「この懇談会は青少年の健全育成を進めるのにとっても効果的。ほかの地区でもぜひ開催してほしい」と話しました。

世界に貢献したい 青年海外協力隊員が市役所を訪問

独立行政法人国際協力機構（JICA）の平成18年度1次隊青年海外協力隊員として派遣されることになった本山麻紀さん（松橋町曲野）が、このほど市役所を表敬訪問しました。7月26日から、ネパールの首都カトマンズの病院で看護師として活動しながら、同僚や看護学生に対しアドバイスや提案などを行います。



「救急医療・看護の知識、技術を伝えたい」と語る本山さん